

呉市立地適正化計画検討委員会（第1回）の意見対応表

1 防災指針の追加に係る内容

番号	意見の要旨	ご意見に対する考え	素案への反映	
			ページ	内容
1	防災指針は都市計画に関わる防災の取組を位置付けるものなのか。防災に関する計画は国土強靱化地域計画や地域防災計画等ある中で、防災指針を位置付ける意義とは何か。	<p>防災指針は、都市が抱える防災上の課題を分析の上、防災まちづくり将来像や目標等を明確にし、まちづくりにおける総合的かつ計画的な防災・減災対策を進めるための方針として、他の防災に関する計画と整合・連携を図り、作成するものです。</p> <p>計画書へ防災指針やその他防災関連の計画の位置付けや概要を記載いたします。</p>	117	(2)防災指針の位置付け ・防災指針の位置付けを図で表示 ・各計画の概要を表記
2	呉市の防災指針の対象区域はどこか。	都市再生特別措置法においては、市街化区域及び用途地域に定める居住誘導区域及び都市機能誘導区域を対象としていますが、現時点では、居住誘導区域外に住まわれている方の生活環境の維持も図る必要があることから、市全域を対象区域としています。	117	(2)防災指針の位置付け ～、呉市では、全域での持続的なまちづくりを行うこととしていることから、居住誘導区域等を含まない地域（都市計画区域外の地域）についても対象とします。
3	平成30年豪雨災害の経験等から防災指針に反映されているところはあるのか。	防災指針としては、平成30年豪雨災害を踏まえた取組としては整理しませんが、国土強靱化地域計画や地域防災計画、呉市土木未来プラン等は、災害を教訓として作成されており、本計画はこれらの計画と整合・連携を図っています。	117	(2)防災指針の位置付け ・防災指針の位置付けを図で表示 ・各計画の概要を表記
4	社会福祉施設は、一般の避難所が利用しにくい地域の高齢者や障害者の方にも適正に支援ができるような福祉避難所を目指しており、今後も呉市と協力しながら進めていきたい。	御意見を参考にさせていただき、活用可能な支援等について研究してまいります。	—	—
5	大規模な災害の発生時は、子どもや保護者等が安心して過ごせる居場所が必要になる。	御意見を参考にさせていただき、活用可能な支援等について研究してまいります。	—	—
6	「早期避難の意識醸成」の取組として防災情報メールの登録促進等が挙げられているが、こうした取組も意識している人しか興味を持たず、全体の防災意識は上がらないのではないか。	様々な手法による情報発信を行っていますが、認知が進んでいないことは承知しており、引き続き、早期避難の意識醸成に取り組んでまいります。	—	—
7	中央地域の液状化危険度が高くなっており、不安に感じている。	防災まちづくりに向けて、計画に位置付けた取組等により、ハード・ソフトの両面から防災・減災対策に取り組んでまいります。	183	取組方針及び具体的な取組

番号	意見の要旨	ご意見に対する考え	素案への反映	
			ページ	内容
8	災害リスクの高い地域は居住誘導区域から除外することも考える必要があるのではないか。	現在の居住誘導区域は、既に土砂災害特別警戒区域や急傾斜地崩壊危険区域等の災害リスクの高い地域は既に除外しています。また、防災指針では、これらの災害リスクの回避・低減を進めるものであることから、この度の改定は、見直しを行わないこととしています。	118	(3) 防災指針作成の流れ ・ 居住誘導区域の見直しを行わない理由を表記
9	地域毎の課題抽出のため、都市情報として、各地域において実施されている防災に関する取組を重ねたらどうか。	災害リスクの分析の項目に当たっては、国土交通省が作成している「立地適正化計画の手引き」を参考としており、基本的にはデータが存在する項目を選定しています。 なお、呉市における危険空き家は、全体数の0.3% (347戸) と少数であり、都市情報として重ね合わせる項目にしていません。	—	—
10	震度分布に都市情報として、危険空き家の分布状況を重ねてみてはどうか。			
11	ミクロ分析では、避難所からの徒歩圏を500mで設定しているが、呉市は坂道や階段が多い地域であるため、地理的特徴を踏まえた設定を考えてもいいのではないか。	徒歩圏500mにつきましては、現行計画の都市機能誘導区域と居住誘導区域の設定に使用しており、整合性の観点から、現時点での設定は難しいものと考えます。	—	—
12	学校への積極的な働きかけや、出前トーク等による市民への啓発が重要である。また、親子で参加できるワークショップを開催してはどうか。	出前トークでは、一般向け、子ども向けともに、防災に関するメニューを設けており、引き続き、啓発活動を行ってまいります。 また、呉市の小中学校では、児童生徒が「自分の命は自分で守る」力を育成するための防災教育を行っています。御意見を参考にさせていただき、引き続き、関係部局と連携しながら防災教育の充実を図ってまいります。	—	—
13	避難情報を伝える手法として、アートや芸術で表現してみてもどうか。子どもや高齢者もわかりやすく、SNS等でも広く周知されるようになるのではないか。	避難所の表示は一目で判別できるよう、国において示されているピクトグラムを参考に作成しています。 避難情報の発信方法等につきましては、より多くの方に情報が伝わるよう、引き続き研究してまいります。	—	—
14	災害リスクの見える化により、行政だけでなく、市民や事業者を示すことが重要である。	今回の改定では、マクロ分析及びミクロ分析による災害リスク分析の図面を掲載する予定としており、市民や事業者にも広くお示しします。	—	—

2 現行計画の見直しに係る内容

番号	意見の要旨	ご意見に対する考え	素案への反映	
			ページ	内容
1	子育て世帯の人たちの動線を見ながら、そうした人達に必要な施設をどうやって立地させていき、コンパクトで暮らしやすいまちにできるかが重要である。	現在実施している呉駅周辺地域総合開発では、交通機能や子育て機能、商業機能、居住機能等を備えた複合施設の整備を進めています。今後も必要な施設やその整備手法について研究してまいります。	—	—
2	未実施となっている誘導施策（低未利用土地の活用等）は今後どのようにしていこうと考えているのか。また、中心市街地の空き地対策を促進する必要があるのではないのか。	中心市街地における低未利用地や、空き地対策は重要であると考えています。 令和6年7月には、国において、空き地等の有効な活用・管理の在り方などについて中間とりまとめとして提言がなされており、これらを踏まえ、引き続き、研究してまいります。	—	—
3	郷原への企業進出により人口増加に繋がるチャンスがあるにも関わらず、市外への居住を検討している人が多いと聞いている。呉市に住みたいと考えてもらえるような施策はできないのか。	企業の進出が予定されている地域は、市街化調整区域となっており、住宅を建築するには制限がある地域となっています。 しかし、大規模な雇用が生まれる状況の中、ニーズに応じて開発許可の見直し等も検討してまいります。	—	—
4	居住誘導における進捗状況を適切に評価するためには、居住誘導区域外から区域内への人口動態データを使用すべきではないのか。	居住誘導区域外から区域内へ移動した人口に関するデータは確認が出来ませんでした。 また、令和5年度から、まちなか居住誘導施策として、居住誘導内への移住・定住について助成金にインセンティブを与えていますが、サンプル数が少なく、評価項目として使用は出来ませんでした。 評価手法の一つとして、区域外と区域内における人口密度の減少率等について検討してまいります。	—	—
5	誘導施策として「関係人口」に関連する施策が見当たらない。関係人口の増加は居住誘導の観点からも必要な施策であるとする。	誘導施策として、「関係人口」に関する取組について、誘導施策として計画に反映しました。	99	まちづくりの方針2 【新たに検討が必要な施策】 ・種別：官民連携 ・誘導施策：関係人口の創出によるにぎわいづくり ・施策の概要：ワーケーションやブレジャー等の柔軟な働き方や滞在型観光の環境整備の推進
6	アーバンスポーツを広く周知し、スポーツに関する目標を示せば、若い世代が希望を持ち、呉市に住むのではないのか。 また、排出されるゴミを繊維にリサイクルし、アーバンスポーツのアイテムとして再利用出来れば、地産地消にも繋がり、まちが活性化するのではないのか。	現在、アーバンスポーツに係る取組として、大会開催が可能な中規模な施設や、身近な練習場所に適した小規模な施設の整備を検討しているところであり、誘導施策として計画に反映しました。 リサイクルに関する御意見につきましては、参考にさせていただきます。研究してまいります。	98	まちづくりの方針1 【継続事業】 ・種別：基盤整備 ・誘導施策：コミュニティ形成の場の創出 ・施策の概要：アーバンスポーツ施設の整備の推進